

30年後の建築設備と社会～2050年の社会を考えてみよう

募集要項

課題説明

この夏は暑かった。しかし、空調があるために人は快適に平常の営みをすることが出来る。また、照明があるために夜も明るみを失わず、給水・排水によって清潔で健康的に過ごすことが出来る。私たちの生活の舞台である建築や都市は「設備」というエンジニアリングに支えられて機能しているが、人はそれを当たり前と思い、その存在に気付かない。

このコンペでは縁の下の力持ちであるエンジニアリングの進化を大胆に予測し、30年後の2050年の社会を想像してもらいたい。なお、エンジニアリングは広く捉えていただいて構わない。エネルギーやインターネットなどの進化が社会を変えつつある現在から見て、30年後の諸君が活躍する社会はどんな姿だろうか。

応募資格

- ・応募時に、大学（大学院も含む）、高等専門学校、高等学校、専門学校に在学中であること。
- ・応募は個人でもチームの作品でも可とするが、一人あたり1点の応募に限る。

提出締切

2019年3月15日（金）必着

- ・郵便、宅配便などを使って送付。締め切り日後に到着したものは受理しない。
- ・直接持参による提出は受け付けない。
（締切後、受領確認のメールを代表者へ送付します。3月末日を過ぎても通知が届かない場合は、提出先の電話番号へ確認してください。）

提出先

〒105-0004 東京都港区新橋6-9-6 12東洋海事ビル
一般社団法人 建築設備技術者協会 学生コンペ係
電話：03-5408-0063

提出作品の書式等と提出方法

- ・図面（縮尺自由）、ドローイング、模型写真、文章など、自分の提案を自由な表現手法で示したものをA2版用紙1枚（片面横使い）におさめ、提出。
- ・ケント紙あるいはそれに類する厚紙とし、表現は鉛筆、インキング、着色、写真貼付、プリントアウトなどいずれでも可とする。ただし、パネル化しての提出は不可。
- ・提出作品には、応募者の所属や氏名等がわかる内容を表面には一切記入しないこと。
- ・別途、ホームページにアップされている所定の応募用紙に、必要事項（氏名、自宅住所、電話番号、メールアドレス、学校名など）を記入して、作品の裏面に貼り付けること。
- ・作品は折り曲げずに丸めて送付すること。

- ・応募作品は未発表のものに限る。学校の課題として制作し、学校内だけで公表されたものは、未発表作品として扱う。
- ・応募作品は返却しない。必要な場合は予め複製を作っておくこと。
- ・以上の各点が守られていない作品は審査対象としない。

審査員

審査委員長 野部 達夫（工学院大学）
審査員 赤司 泰義（東京大学）
瀧川 義就（朝日工業社）
那須原和良（清水建設）
村上 正継（MURA設備設計事務所）
柳井 崇（日本設計）
山下 浩一（建築設備技術者協会）

賞

最優秀賞：1点 奨学金 30万円
優秀賞：2点 奨学金 10万円
佳作：数点 奨学金 1万円

審査結果の公表など

- ・厳正に審査を行い、入賞者への郵送及びホームページ上で審査結果を公表する予定。
- ・受賞作品は、2019年6月27日（木）に予定されている30周年記念式典で展示及び表彰を予定。

その他の注意事項

- ・作品の著作権は応募者にあるものとするが、入選作品については広報用の使用权を当協会に帰属するものとする。
- ・上記以外の事項に関しては応募者自らが判断することとし、電話等での問い合わせには応じない。

30年後の建築設備と社会～2050年の社会を考えてみよう

応募用紙

<p>氏名・年齢</p> <p>※チームの場合は全員の 氏名・年齢を記載</p>	<p>(代表者)</p> <p>(歳)</p> <hr/> <p>(歳)</p> <hr/> <p>(歳)</p> <hr/> <p>(歳)</p>
<p>代表者 住所・連絡先</p> <p>電話</p> <p>メールアドレス</p>	<p>〒</p>
<p>所属</p> <p>学校名</p> <p>学科又はコース</p> <p>学年</p> <p>※応募者全員について記載</p>	

[個人情報の扱いについて]

作品応募にあたりご提供頂きました個人情報は、主催者が適切に管理し、応募者の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。